



佐賀県立男女共同参画センター  
佐賀県立生涯学習センター

☎ 0952-26-0011

📍 交通アクセス

✉ お問い合わせ

男女共同参画センター

生涯学習センター

DV総合対策センター

相談する

図書を借りる

視聴覚機材や  
PCを借りる

ホールや研修室  
借りる

[トップページ](#) > [男女共同参画センター](#) > [講座レポート](#) > [29年度](#) > [地域女性リーダー養成セミナー](#) > 平成29年度地域女性リーダー養成セミナーを開催しました

## 平成29年度地域女性リーダー養成セミナーを開催しました

### 「女性のための地域リーダー入門講座」～ワタシサイズの一步～

佐賀県立男女共同参画センターでは、地域や団体・グループなどにおいて、これからリーダーとして活動したい方や、リーダーとしてスキルアップを図りたい方（女性20名）を対象に、「女性のための地域リーダー入門講座」を開催しました。

今年度のテーマは、「ワタシサイズの一步」。「ワタシ（私）サイズのリーダーに向かって、自分らしい一步を踏み出す」ために、第1回目の11月18日（土）から最終回（第5回）の3月3日（土）まで、月1回のペースで学びを深めていきました。講座の様子を「講座レポート」にまとめましたのでご覧ください。

#### PDFデータは、こちらから↓↓



- ・ [第1回講座レポート\(777KB; PDFファイル\)](#)
- ・ [第2回講座レポート\(741KB; PDFファイル\)](#)
- ・ [第3回講座レポート\(1283KB; PDFファイル\)](#)
- ・ [第4回講座レポート\(887KB; PDFファイル\)](#)
- ・ [第5回講座レポート\(869KB; PDFファイル\)](#)



- ・ [チラシ（連続講座）\(1005KB; PDFファイル\)](#)
- ・ [チラシ（公開講座）\(1170KB; PDFファイル\)](#)

#### 第1回 「女性の力を地域づくりに」

講師：松田 美幸（まつだ みゆき）さん

（福岡地域戦略推進協議会シニアフェロー、内閣府男女共同参画会議議員）

#### 男女共同参画センター

📄 [男女共同参画センターの講座・イベント\(令和3年度事業計画PDF\)](#)

📄 [男女共同参画に関する県内イベント情報](#)

📄 [啓発教材・調査研究の紹介](#)

📄 [男女共同参画に関する調査研究](#)

📄 [活躍する女性を訪ねて](#)

📄 [リンク集](#)

📄 [男女共同参画って何？](#)

平成29年度「地域女性リーダー養成セミナー」

女性のための地域リーダー入門講座 vol.01  
2017.11.18

# 「ワタシサイズ的一步」

## 第1回「女性の力を地域づくりに」を開催しました

11月18日(土)「女性のための地域リーダー入門講座」が地まりました！  
今年のサブテーマは、「ワタシサイズ的一步」。私らしい、私だからこそできる「私サイズ的一步」を踏み出すために、5回の講座を通して、自分を見つめ直します。  
地域で感じる潜在化した自分の問題意識を顕在化し、その問題に自分はどうにか関わることができるのか、25人の仲間と「思い」を「カタチ」にしていきます。

まずはじめに、男女共同参画センター（アバンセ）上野事業統括より、一言ご挨拶、「女性の視点をもつ地域に！」という、この講座を企画していただき、一歩一歩踏み進められ、ワタシサイズの幅を広げてください！」

輪になって、誕生日順に自己紹介！

～講座の中から～  
「気になるワード」

ジェンダー・ギャップ指数  
スイスのジュネーブに本部を置く民間団体「世界経済フォーラム」が各国内閣の格差を数値化しランク付けしたもの。2017年 日本は、144ヶ国中114位（健康1位、教育74位、経済参差114位、政治参差123位）  
〔公益財団法人 日本女性労働財団より提供〕

ジェンダー・バイアス  
後天的につくられた社会的性差（男らしさ・女らしさ）などによって生まれる認知の歪み、決めつけ、思い込みなど。また、性による差別や男女非対称的な扱い。  
〔公益財団法人 日本女性労働財団より提供〕

2017年11月18日 13:30～16:30

第1回講師は、松田真幸さん（福岡地域戦略推進協議会シニアフェロー）  
まず、日本と世界の男女共同参画社会づくりの経緯をお話いただき、日本における男女共同参画の現状を知ることができました。日本の2017年のジェンダーギャップ指数は、144ヶ国中114位。国会議員や管理職職歴従事者に占める女性の割合が先進国と比べて著しく低いと松田さん。  
地域には、ジェンダー・バイアス（男女の役割に関する思い込み）による発言や、防災・減災の場への女性の参画が十分でなかったり、地域コミュニティの担い手不足など、様々な課題があります。松田さんからは、地域課題に取り組みワタシサイズの歩みを紹介いただき、女性が地域に参画することの大切さと意義を学びました。  
最後は、松田さんから皆さんへ「あなたは、誰と どんなことを、どんなチームで進めたいですか？」の問いかけ、皆さんの思いが、どんな「カタチ」になるか、楽しみですね！

参加者の声～アンケートから～

- リーダーでも、色々な形のリーダーがいる。自分なりにできるリーダーになりたいと思う。
- 改めて女性の地位の向上の重要性をよく理解できた。また地域コミュニティの大切さを見直すこと、さらに色々なものを核としてイノベーションを起こすことが重要だと感じた。
- テーブル席には共感できる人ばかり。今のニーズにぴったり合っていた。今回の話を聞いて、とてもやる気スイッチが入った。
- なんとなく浮かんでいた「リーダー」、今日は、その意味や自分がここに来た理由を逆に発見することができた。ありがとうございました。また、このメンバーで深く進めていきたい。

アバンセ

## 第2回「ワタシを知る」

講師：間間 理（ききま おさむ）さん

（九州産業大学経営学部産業経営学科教授）

平成29年度「地域女性リーダー養成セミナー」  
 女性のための地域リーダー入門講座 vol.02  
 2017.10.2

# 「ワタシサイズの一歩」

## 第2回「ワタシを知る」を開催しました

12月2日(土)の講師は、開館理さん(九州産業大学経営学部産業経営学科教授)です。  
 ～～開館理さん 冒頭メッセージ～～  
 今からの時代に大切なことの一つは、「自分のことが分かる」こと。新しいことを始めるとき、「楽しさ」や「やりがい」を感じられるかが大事です。「〇〇が言っているから」「流行っているから」では続きません。  
 “地域を変える”&“社会を変える”人たちは、さまざまな困難から抜け出し、イノベーションを起こします。何が何でも自分にとって大切なこと(自分にあったテーマ)を見つけることができるかが、困難を突破することにもつながり、リーダーになる上で一番のポイントになります。「自分のことが分かる」と自分らしさを活かして、どんなことに繋がるのかが見えてきます。今日は、レゴを使って「自分らしさ」を見つけます！



講師 開館理(ききま おさむ) さん

「レゴ®シリアスプレイ®メソッドを使ったワークを体験」

まず、レゴブロックに慣れるための練習からスタート。「短くしゅり〜」と会場には皆さんの賑やかな声！しかし、次々と与えられる課題を難なくクリア。結論ありきではなく、手を動かしながら、「どんな感覚になるか」「どんな気持ちになるか」を大事に形作っていきます。練習後は、次のテーマに取り組みました。

- ・テーマ① 自分自身が目指すべきリーダーは？
- ・テーマ②-1 自分自身の発想熱心度を表現してみよう。または、地域の状況は？
- ・テーマ②-2 どうなったらベスト？どうしたら解決する？
- ・テーマ③ あなたは、どこから手をつける？

ダックに昇立してみる。

～～最後、開館理さんより、励ましのメッセージ～～  
 正しく問題を認識することが大事です。ダックの歌は、正しく自分を認識できた自分の姿です。人によって問題関心は違います。「自分は何のためにやっているのか」「問題意識はどこなのか」「足らないところは何か」を強く認識して、自分らしく進んでください。  
 今回の体験で、最終回までに、「自分は何を持っていて得なければならないのか」を、感じ取って頂けたのではないかと思います。

～講座の中から～  
 「気になるワード」

ビジネス上の問題解決には、論理を尽くした議論を優先しがちです。各人の感性、「心」で考え直し、感性で捉えたことをまた論理で考えてみる、この相互作用が問題解決を効果的に促進します。  
 LEGO® SERIOUS PLAY®は、遊びと学びの融合の中に、問題解決のプロセスを巧みにおこなった、「新しい学びの道具」といえます。大人でも子供でも、世代や上下関係を超えて、参加できるのが特徴です。  
 チームの様々な人が、自分の考えを素直に表す。また、他のメンバーから、多角的な視点で自分の考えに刺激を受けるのが最初のステップです。チーム全員が、このプロセスを共有することにより、個々の考えが、次元の高い、ダイナミックな考えへ統合・昇華することができます。  
(株式会社ロバート・システムセンター・アンド・アソシエイツより提供)

参加者の声～アンケートから～

- ・自分の立ち位置、問題、目指すことが、ぼんやりと見えてきました。
- ・自分がやらなくてはいけない問題がわかってきた。
- ・ブロックも楽しかったし、自分の心の想いが表現できた。誰かに想いを伝えることで、再認識ができました。
- ・ブロック一つで、こんなにも色々なことが分かるのかと驚くばかりです。出会えてよかったプログラムでした。
- ・ずっと体験したかったレゴシリアスプレイができて良かった。悔いなく自分もわかった。
- ・手と目と口を使って、自分のことを知ることができました！ありがとうございました。
- ・何が問題なのかがわかった。



### 第3回「一人ひとりが認められる場をつくる」

講師：木村 航(きむら わたる)さん

(放課後クラブ三粒の種代表・ファシリテーター)



平成29年度「地域女性リーダー養成セミナー」

vol.03  
2018.1.13

# 女性のための地域リーダー入門講座 「ワタシサイズの一步」

木村さんの仮書より

## 第3回「一人ひとりが認められる場をつくる」を開催しました



ファシリテーター 木村 航(きむら わたる)さん

1月13日(土)は、木村航さん(放課後クラブ三組の種代表)に、「ワタシサイズの一步」を進めるための話し合いの場をファシリテートいただきました。

地域で(職場で)リーダーとして活動する上で大事なことは、「関わっている人たちが認め合える」「一緒にやろうよ!という気持ちになれる」という場をつくること、その一つの関わり方として、木村さんのようなファシリテーターという「役割」があります。グループの中で何かを決めたり、新しい何かをつくるときに、支えるという「役割」を持つ人です。

今日は、参加者同士の話し合いの中で、ファシリテーターの役割を考えながら、「私たちの問題・関心マップ」を作成しました。

### 「私たちの問題・関心マップ」

このマップは、仲間の想いを聞き合うことを通して、それぞれの「ワタシサイズの一步」が、「どこにつながっていくのか!」「私が一歩踏み出すことで地域がどう変わるのか!」を表したものです。

まずは、個人作業で、「私の問題や関心」を書き出しました。問題がはっきりしていない人は、そのまやまや自身を書き出します。「地域の中で考えていること」「自分の中で考えていること」どちらも書き出し、グループメンバーに、それぞれの「関心」と「何でそう思っているか」を伝えました。次に、書き出したものの「つながり」と「関連性」を見つけます。これをグループを定めてもう一度話し合いを通して、「一番中心となっている私の問題は、これだ!」というものを選び出しました。

最後に、応用紙4枚を貼りあわせた大きな白紙に、全員で向き合い、つながりと関係性を表しました。マップには、子育て・家庭・働くこと・地域、それぞれのつながりと問題が表現され、それぞれが結び合っていることが、見えてきました。

### ファシリテーションとは? ~講座の中から~ 「気になるワード」



人々の活動が得意にできるよう支援し、うまくことが進むよう促すこと。異議による問題解決、アイデア創出、教育、学習機、あらゆる知識創造活動を支援し促進していく働きを意味します。その役割を担う人がファシリテーター (Facilitator) であり、会議で色んな進行役にあたります。

(佐賀県生涯学習財団 佐賀県女性と生涯学習財団 事務局より提供)

### 参加者の声 ~アンケートから~

- ・ 話し合いの時間もじっくりあり、表(マップ)にして表すと大変わかりやすかった。
- ・ ディスカッションがしつかりできた。
- ・ 痛替えをしたことで、たくさんの方の色々な思いを知ることができて、自分も気づきや新しい考えを持つことができた。
- ・ 腹の中でイメージしていたものを書き出し、みんなの意見をまとめると整理しやすい。
- ・ 話をすることは苦手ですが、質問に答えていくうちに自分の考えに気付けた。
- ・ 次の活動につながるためのヒントまで得られれば良かった。





#### 第4回【公開講座】「あなたの一歩が、地域・社会を変える」

【講演】「あなたの一歩が、地域・社会を変える」

講師：尾崎 えり子 (おざき えりこ) さん ((株)新閃力代表取締役社長)

【トークセッション】

スピーカー：

内田 信子 (うちだ のぶこ) さん (佐賀錦研究者)

大木 八重 (おおき やえ) さん (株式会社ヨココ商品開発部営業企画課課長)

小林 由枝 (こばやし よしえ) さん (よりみちーション代表)

コメンテーター：尾崎 えり子さん

ファシリテーター：上野 景三 (うえのけいぞう) (佐賀県立男女共同参画センター事業統括)

平成29年度「地域女性リーダー養成セミナー」(公開講座)

女性のための地域リーダー入門講座 vol.04  
2018.2.17

# 「ワタシサイズ の一步」

第4回「あなたの一步が地域・社会を変える」を開催しました

2月17日(土)は、尾崎えり子さん(無新聞力代表取締役社長)に、「あなたの一步が地域・社会を変える」と題して、ご講演いただきました。尾崎さんは、よく「尾崎さんみたいにはなれないので出来ません」と言われるそうです。「社会や地域の変え方は100人いたら100通り。私は、私が幸せになるやり方をやっているだけ。私サイズを他人と比較して、できない理由を探すのではなく、どうすれば出来るかもしれない!!を探して欲しい。」とはじまりました。

2人の子育てをする中で、尾崎さんが地域に一步を踏み出すきっかけとなったのは、「地域の中で頼る人がいない。」という危機感だったそうです。そこから、地域とつながれる施策をやりたい!との思いが生まれ、地元での創業につながったそうです。尾崎さんは、「幸せ」と感じる地域や社会に向けて、さまざまな地域課題に取り組まれています。詳しくは、<http://shinsenyoku.com/>

「あなたの一步が地域・社会を変える」  
講師 尾崎えり子(おさきえりこ)さん

トークセッション  
「私が一步を踏み出したとき」

一步を踏み出した経歴をお持ちの3名の方に、それぞれの一步(ターニングポイント)をお聞きました。

内田さん: 早期退職を選択したとき。当時は、転職の現場で管理職、臨時でボランティアもやっていた。在籍後後進に在るという夢のチャンスもやっていた。その頃、生活を支えてくれた夫が死去。喪事から帰る、息子がストロークの前で丸くなって寝ている姿を見た時に期待がなくなった。早期退職は、後半生をより良くするための判断。一步を踏み出すには、想いを口に出すと良い。後に引けなくなり、一步を踏み出すための後押しになった。大木さん: 転職、社内結婚、専任を取得。当時は、専任をとることが普通ではなかったが、夫の転勤が決まり、専任から復帰できなくなった。その悔しさが仕事を続ける原動力になっている。また、障がいを持つ子が生まれたこと。全てが大きなことではないと思えるようになり、全てを楽しく転換できるようになった。職場では、頑張らずに、それが次の世代のスタンダードにならないよう努めている。

小林さん: 結婚後、意識へ。そして出産。落ちたら、なりたかった数値に届くのかなど考えていた。そんな中、友達をつくるために子育てサークルに参加。そこで代表を務めることになり、生き生きと地域のことや子育てのことを語る先輩たちと出会う。「できない」ではなく、できることからやっていたら、共通の輪が広がっていった。想いを持っていれば、道が拓けるし、人やものが集まってくる。

尾崎さんより一言: ここにいるみなさんは、講座に参加されたこと自体が一步。日本の女性は、色んな課題を持って後向きで歩いているイメージ。自分がどうしたいのか、何にワクワクするかが分かれば、前に進む。一步が進めると思っています。

at あいちゃん感謝  
~1期生&2期生~  
「交流会」を開催しました

語るためのカード「カタタ」を使って、公開講座の印象をシェアしました!  
一年に1回、機会が関わってもお会いしましょう!

参加者の声  
~アンケートから~

- 本当に話がマッチして、私も自分がここで暮らすにはどうしたら良いかと日々考えています。改めて、自分を見つめ直し、次のステップに進みたいと思います。
- 特に政策における女性視点は、とても重要だと思う。子育て支援や働き方改革を十分に政策に活かしてもらえれば、社会はもっと、スピーディーに変化していくように感じている。
- 1人1人の得意分野をコースがあるところに活かす、不足するところは周りに補完、協力してもらうことで、1+1>2の相乗効果が生まれると改めて感じた。
- 私の生き方を明らかにしていくことが出来ました。自信をもって今、できることを一生懸命していきます。

コーディネーター(上野中葉実話)より一言  
「私サイズ」の大きさやデザインは、人それぞれ。しかし、そのサイズは自分で決めなければならない。自分で決めるといふ一步が必要になる。みなさんは、どんな私サイズを選びますか。

アバンセ

第5回「ワタシサイズの関わり方考える」

講師: 岸 智子(きし ともこ)さん  
(福岡女子大学学び直し大学院プログラムコーディネーター)



平成29年度「地域女性リーダー養成セミナー」

女性のための地域リーダー入門講座 vol.05 2018.3.3

# 「ワタシサイズの一步」

## 第5回「ワタシサイズの関わり方を考える」を開催しました

11月から始まった「ワタシサイズの一步」も第5回で最終回。最終回は、岸 智子さん(福岡女子大学学び直し大学院プログラムコーディネーター)に、「ワタシサイズの関わり方を考える」をテーマに、私たちが次の一步を踏み出すためのファシリテートをさせていただきました。

まずは、Points of you色のカードを使い、「今日の私」や「今の気持ち」から、みなさんの「今の状態」を共有しました。次に、チームの力を体感するワークを体験し、一人では、できることに限界があるけれど、助け合うことでできることが広がることを実感しました。

さて、今日のゴールは、「自分が何を大切にして、これから何をしたいのか?」を自分の言葉で明らかにすることです。「はたらき自分史」を作成しながら、探していきます!

講師 岸 智子(きしともこ)さん

「はたらき自分史」をつくる!

「はたらき」とは? 辞書(大辞林)で調べると、「働くこと」、「仕事をする事」、「働くことに伴って生ずるもの」、「動くこと」とありますが、ここでは、自分が動いたことで、誰かに何かが生ずる、「はたらきかけ」の意味で考えていきます。

これまでの自分の「はたらき」を、できるだけ小さな頃からさかのぼり、その時の気持ちや印象も添えながら一紙表を作成。みなさん初めは、記憶を呼び起こすのに苦慮されていましたが、5分おやすみと、幼少期を中心に「家族に口を聞いてあげた」「近所のお宮さんを隠れて拝見した」など、次々に昔の「はたらき」を思い出されていました。

個人でのワークのあとは、グループ内での共有です。グループのメンバーから、「印象に残ったこと」や「気づき」などを付箋に書いてもらい、プレゼントし合いました。もらった付箋を読み、メンバーの言葉を聞きながら、「自分が何を楽しく、嬉しいと感じていたのか」「何に充実感ややりがいを感じていたのか」など、自分では気づけなかった自分に気づき、「今何を大切にしてきたのか」を客観的に見ることができました。そして、その大切にしてきたことから、自分は、「これから(これからも)何を大切にしたいのか」「これから何をやるのか」を話し合い、お互いにエールを贈り合いました。

最後に岸さんより、この講座での学びは、みなさんが今まで積み上げてきた「学び」をセーターをほどこように一旦ほくして、みなさんの今のサイズに組み直す作業、つまり「学びほくし」だったのではとお話いただきました。今まで地域・社会で活動してきたことを一旦ふりかえり、「ワタシサイズの一步」の歩みを踏めてくださいとエールを贈ってくださいました。

Points of youって?

Points of youは、イスラエルのYaron GolanとEzraat Sharifによって2009年に開発された、新しい視点を発掘することを促進するためのツールです。個人、プロフェッショナル、組織で活用できるツールで、様々な課題に対してリアルに、楽しみながら取り組むことができます。Points of youGAPより資料をダウンロードしてください。

参加者の声(アンケートから)

- 応援メッセージをもらって、自信がもてた。
- 自分を知ることや、自分の思考の中で、他者との違いなども分かった。
- 「何のために」に気付けたこと。
- 目的が明確になった。
- これからの「一步」を踏み出す勇気ももらった。

上野事業推進より機会あわせこの講座で学んだことを活かして、ぜひ、地域社会の中に女性の声を届けてください。そして、自分が自分の人生の主役であり続けるために、学び続けていきたいと思えます。

[戻る](#)

[アバンセとは](#) | [リンク集](#) | [公益財団法人 佐賀県女性と生涯学習財団](#)

**アバンセ** 佐賀県立男女共同参画センター  
佐賀県立生涯学習センター

TEL : 0952-26-0011  
FAX : 0952-25-5591

〒840-0815  
佐賀県佐賀市天神三丁目2-11(どんどんの森内)

[交通アクセス](#)

[お問い合わせ](#)

### 開館時間

火曜～土曜日：8時30分～22時00分  
日曜・祝日：8時30分～17時00分  
(ホールは22時00分まで)

### 休館日

毎週月曜日(祝日も含む)  
12月29日から翌年1月3日まで

[館内フロアマップ](#)

[施設利用の手続き](#)

[利用料金表](#)

[施設利用Q&A](#)



アバンセレストラン  
「あいちゃん農園」

